

達人に学ぶ快適&お洒落なワークスペースづくり

ラ・フィネストラ

La Finestra

Vol. 22

www.finestra.jp



インテリアから考える自宅テレワーク

家を、オフィスに。



Living & Dining



Entrance



スタイルいろいろ
リビング & ダイニング

リビングやダイニングに設置する場合も、ある程度集中したいなら壁に凹みを設けて半個室のようにする方法があります(上)。ほかにも壁に棚と机をつけて本棚兼ワークスペースにすればインテリアの一部として楽しめるし(下左)、眺望が良い家なら窓際にカウンターを設置しても気持ちよく仕事ができそう(下右)。

集中したい人に最適の玄関脇 浴室などの水回りスペースを間取り変更して、玄関からつながる一人用ワークスペースに。リビングルームに比べて人の出入りが少なく、適度なこもり感が集中力を高めてくれます。

リノベーションのプロ「ブルースタジオ」に聞きました 見つけた! 家の中の快適ワークスペース

リノベーション会社ブルースタジオの石井健さんに、自宅ワークスペースづくりのポイントを伺いました。これからリノベをする人や新築する人はもちろん、既存の家でも良いヒントが見つかりそうです。



ブルースタジオ

国内のリノベーション業界をリードする設計事務所。個人邸リノベーションから戸建てリノベーションや新築案件、事業用建物の再生、街のブランディング、不動産事業まで幅広く行う。
<http://www.bluestudio.jp/>

見落としがちな廊下を有効に使う

(左) 一般的な住宅より廊下を広めに設計し、カウンターを設置。本棚や収納なども一緒に設ければ立派なワークスペースに。

ガラス戸でゆるやかに仕切る

(右) 写真右手のガラス戸の先はリビングルーム。家族の気配を感じながらも仕事への切り替えがしやすいスペースです。



Corridor



Partition

何をするか、誰が使うかを想定して場所を選ぶ

「自宅におけるワークスペースの位置付けはキッチンと似ています。キッチンにはI型、アイランド型、居室との分離型などさまざまなタイプがあり、住人の好みや暮らし方によって選びますよね。ワークスペースも同じで、誰が使うのか、使う人がどういう働き方をしたいかをまず考えてみるといいと思います」

そう語る石井健さん。具体的にはどんな選択肢があるのでしょうか。

「一人で集中したかったりオンライン会議が多い人なら、朝晩以外に人の出入りが少なくリビングから離れた玄関脇はおすすめの場所。逆に、子どもから目が離せないならリビングの一角に設けることが多いです」

同じリビング・ダイニングでもさまざまな設置方法があるとのこと。

「たくさん資料を広げるなら大きなダイニングテーブル、少し集中したいなら壁に向かったカウンターなど複数の設置方法があります。家族の気配を感じながら少しだけ隔離した状態にしたいなら、ガラス戸やパー

ティションなどでリビングからゆるやかに仕切る方法も。今後は家族と一緒に家にいる時間がより増えるでしょうから、ゆるく仕切る小部屋形式が増えていきそうです」

廊下に設置するユニークな事例も。「廊下は最もスペースを節約できる、最後の選択肢なんですよ。廊下の片側の壁に本棚を設置するようにカウンターを設けるといいですね」

自分の働きかたをよく考えた上で適した場所やスタイルを決めれば、働きやすく快適なワークスペースがつくれそうです。